

# 「12歳の体験」が自分を大きく育てるって？

いよいよ中学入試本番。受験生や保護者のみなさんには、さまざまな感情が生まれているでしょう。

これからの約1か月は何をすることになるのか、どのような状態に出あうのか。

そのヒントは、この期間の過ごし方を受験生のみなさんが自分で考え、行動することにあるといいます。

それはどのようなことなのか、朝日新聞「わかるわかる運動」が日能研に聞いてみました。

## 自分に限界をつくらない

中学入試本番までの、これからの期間。

みなさんを取り巻く環境、見える景色、感じる空気……何より自分自身の気持ち、大きく変わっていくことになります。私“が望む未来に向かって歩き出すために、私“が選択した私学での学びを手にするために、その入り口となる「合格」に目を向ける。これまでのすべてをエネルギーにして、今の私“が、自分で「合格」をつくる。

中学入試直前の「今」だからこそ、受験生のみなさんに伝えたいメッセージがあります。

——「自分に限界をつくらない」。

自分の課題を前に、時に諦めかけそうになっても、自分の「苦手」や「難しい」から目をそらさない。チャレンジを続ける。「あと一点」にとことんこだわる。やり抜く。ふり返る。「合格」に向けて自分の行動を変容させていく。夢中になって目の前の課題と向き合う。まだまだできる。もがき続ける。立ち止まらない。前へ。前へ。

——私を支えているのは、これまで自分で育ててきた私“自身。好奇心のおもむくままに、新たな事柄と出あい、考え、感じ、表現し続けてきた。仲間と話し、刺激し合い、学び合ってきた。過去の入試問題を研究する中で、私学のメッセージも存分に受け取ってきた。都度、新たな私“に出あい、志望校への憧れや想いをさらに強くしてきた。自分の学びを豊かに広げ、育て続けてきた私“。

——だから、胸を張って。

私“が蓄えてきたエネルギーをエンジンに、「今」をがむしゃらに。私“も仲間もみんな、

がむしゃら。——入試期間を過ごす一人ひとりが、そんな私“になることができたなら、これからの期間、自分の限界の先にもっともっと手を伸ばせるはずです。

人生の中で、選択し、決断し、がむしゃらになるべき時は、これから何度も訪れます。覚悟をもってそれらと向き合うのは、大人でも大変なことです。みなさんは12歳の今、中学受験を通してその「体験」ができる。何だか、ワクワクしてきませんか。私“の未来に向けて、私“がつくった階段を、自分で上っていく。その階段に、いよいよ足をかける時。私“のすべてを総動員して、自分の「合格」に向けての「今」を自分でつくる。私“が歩む道の途中にある、大きな一歩。

未来を強く見据えながら、今、この瞬間を全力で。限界なんてない。さあ、がむしゃらに。一気に駆け抜けよう。

——「未来へのドア」をあけて、その先へ。

# あるきだす 合格



入試本番を前に、これまでの自分を超える体験を。  
自分がつくる「今」を、がむしゃらに。

全国規模の中学受験専門塾〈日能研〉のテストイベント

2月新学年スタート! 準備はこのテストから

## 日能研 全国テスト

参加  
無料

[科目] 2科目(国語・算数) [時間] 1回目9:00集合 / 2回目13:00集合 [会場] お近くの日能研各校

保護者会  
同時開催

◆保護者会は、テストをお申し込みの保護者のみなさまにご参加をお願いしています。  
◆学校行事などご都合がつかない場合は、どうぞお気軽にご相談ください。別日程のご案内が可能です。  
◆一部、実施要項が異なる場合があります。詳しくは、日能研公式サイトまで。

詳細・お申し込みはこちらからも▶

〈全国テスト〉のお申し込みは、日能研公式サイトまで。日能研 検索 [www.nichinoken.co.jp](http://www.nichinoken.co.jp)

